



地方独立行政法人

岐阜県総合医療センター

Gifu Prefectural General Medical Center

ご自由にお持ちください

2024.2 No.5

「けんこう」特別号

# つなぐ

病院と地域を  
つなげる広報誌

## 院長メッセージ

## Message

建設工事に伴い、長らくご迷惑やご不便をおかけしてきましたが、いよいよ今春、地上5階建ての「南棟」がオープンします。今回の特集は、新たに完備される放射線治療体制の話を中心に、南棟の高度な医療機能についてレポートし、私たちがめざすがん診療についてご紹介します。ぜひご一読ください。



## SPECIAL REPORT

中日新聞「リンクト」  
**LINKED**  
*plus+*  
病院を  
知ろう

がん診療の拠点として  
さらなる高度化をめざす。  
南棟開設特集

## CONTENTS

- 1 私たちの「治療」
- 2 私たちの「診断機能」
- 3 ここから一步!
- 4 地域医療事情
- 5 NEWS&TOPICS

SPECIAL REPORT

# がん診療の拠点として さらなる高度化をめざす。

## 南棟開設特集

高度な放射線治療の提供体制を整え、  
待望の南棟がいよいよ始動。

### CHAPTER 01 がんに対するあらゆる 放射線治療を実践。

2021年より建設を進めてきた岐阜県総合医療センターの南棟がまもなく完成する。1階にはがん治療に対応する放射線治療部門、2階には外来部門、3階にはがんの遺伝子治療を支える病理部門、日帰り手術に対応する手術部門などが配置され、2024年3月より稼働を開始する予定だ。

南棟の最大の特徴は、最新の放射線治療を可能にする設備や人材を揃え、岐阜県随一ともいえる放射線治療体制を完備することだろう。設備は高精度照射にも対応可能な汎用型リニアック、強度変調放射線治療に特化したリニアック(ラディザクト)、体幹部も含めた定位放射線治療に特化したリニアック(サイバーナイフ)の3台を設置。主任部長・放射線治療科部長の梶浦雄一は次のように話す。「これまで当院では汎用型リニアック1台しかなく、患者さんにご不便をおかけしていました。今回はその汎用型リニアックを更新するとともに、新たに2つの機能に特化した設備を加え、がんに対する放射線治療のニーズにオールラウンドに対応できる体制が整いました」。設備の拡充により、どんな治療が可能になるのか。「強度変調放射線治療は、がん病巣に放射線を集中して照射する治療法で、周囲の正常組織への照射を最小限に減らすことができ、治

療後のQOL(生活の質)を高く維持できます。定位放射線治療は、がん病巣に対して多方向から高線量を集中して照射する治療法です。全身の腫瘍に適応でき、ほかに転移のない早期のがんに対して有効な治療成績が期待できます」と、梶浦は説明する。こうした高度な放射線治療を行うために、医師(放射線腫瘍医)、看護師(専従)、診療放射線技師(放射線治療専門放射線技師)、医学物理士などの人員も重点配置。新たな放射線治療チームとして、患者を全面的にサポートする計画だ。「放射線治療の最大の利点は、手術に比べ、臓器の機能や形態の温存に特化し、QOLを向上できる点にあります。とくに高齢者の場合、負担の大きい手術よりも放射線治療の方が適している場合が多く、放射線治療は今後ますます重要になっていくと思います」と梶浦は話す。

## C O L U M N

●がんゲノム医療は患者一人ひとりの遺伝子情報(ゲノム)に基づき、より適した治療薬を選択する次世代のがん個別化治療である。岐阜県総合医療センターは厚生労働省からがんゲノム医療連携病院に指定され、中核拠点病院である名古屋大学医学部附属病院と連携してがんゲノム医療を行っている。

●南棟の病理センターでは、がん組織と血液から遺伝子パネル検査を実施し、がんゲノム診療をバックアップしていく計画である。



## 南棟とともに本館の医療も充実させていく。

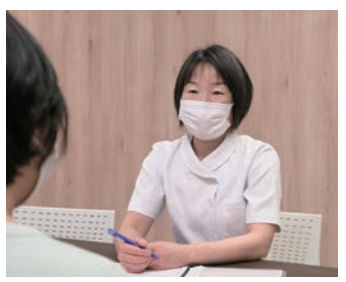
南棟の構想はいつ頃から始まったのだろうか。前院長の滝谷博志（中央検査部部长）に話を聞いた。「ちょうど私が院長に就任した2014年くらいから始まったと記憶しています。当時、日本のがん治療は手術と化学療法が中心で、その補完的な役割を放射線治療が担っていました。しかし、欧米ではその頃すでに放射線治療が全体の50%以上を占めるほど利用されていて、いざ日本でも放射線のニーズが高まるだろうと考えました。その未来予想に照らし合わせてみると、岐阜県では汎用型の装置や強度変調放射線治療を行う装置を導入している病院はありましたが、定位放射線治療を行えるところはなく、県外の病院に紹介している状況でした。なんとか岐阜県内でもすべての放射線治療を完結したい、という思いで動き出したのが、南棟の建設計画です。実際の治療に関しては岐阜大学医

学部附属病院放射線科が全面的にバックアップしてくださるといふ連携が得られたことも、計画を後押ししてくれましたね」。

この放射線治療のほか、南棟ではがんゲノム医療（詳しくはコラム参照）を支える病理部門も拡充される。次世代のがん診療も見据えた、最新のがん治療のコアセンターとして機能していくことが期待されている。最後に、今後の抱負について、理事長兼病院長の桑原尚志に語ってもらった。「いよいよ待望の南棟が始動するというところで、気持ちも新たに引き締めています。南棟の完成により、がん診療の総合的なレベルアップを図ると同時に、その他の医療体制も充実させる計画です。たとえば、本館では超音波検査室や不整脈疾患のカテーテル治療室を増設するなど、多くの患者さんによりスムーズに診療を受けていただける環境を整えていきます。また、次代を担うスタッフ教育にも力を注ぎ、県民の皆さまに最善で安全な医療を提供できるように一層努力していきたいと思えます」。

## BACKSTAGE 岐阜県で求められるすべてのがん診療をカバーする。

- 日本では、2人に1人ががんに罹患し、3人に1人ががんで亡くなると言われている。また、超高齢社会の進展に伴い、がん患者の高齢化も進んでいる。こうした時代に、県外まで足を運ばなくても、体に負担の少ない放射線治療を受けられることは大きなメリットといえるだろう。
- 岐阜県総合医療センターは放射線治療をはじめ、手術、化学療法、さらにゲノム治療までカバーし、高度ながん診療を提供している。



## 「治療」

今回のテーマ

## 高精度放射線治療



岐阜県初のがん放射線治療機器導入をはじめ、環境、人材を拡充し、高精度な放射線治療を。

## 放射線治療は、今や 治癒をめざした 根本的な治療も可能に。

01

がん治療における放射線治療とは、簡単にいうと、がん細胞に放射線を照射することで遺伝子に傷を付け、がん細胞を死滅させるというものです。手術と同じく局所的な治療方法であり、治癒をめざした根本的な治療、症状緩和のための治療など、幅広く適用が可能です。

今日における放射線治療の主流は、病巣に対して正確に放射線を照射する、高精度放射線治療です。定位放射線照射 (STI) と強度変調放射線治療 (IMRT) の二つがあり、STIは、病巣に対し多方向から放射線を集中させる方法、IMRTは、放射線の強さに強弱をつけ、腫瘍に対し集中的に照射を行う方法だけでなく、周囲の正常組織を最小限に抑え込む方法です。



## 最高水準のがん治療を、 岐阜県内で完結できる 環境・設備が整う。

02

高精度放射線治療には、専用の治療機器が必要です。そのため当センターでは、2024年に新たに南館を開設し、治療環境、設備の拡充を図りました。

まず、STIに対応するサイバーナイフは、高精度のロボットアームに小型のリニアック (X線や電子線を発生させる装置) を搭載した装置で、岐阜県で初の導入です。IMRTへの対応にはラディザクトを活用。患者ベッドをコンピュータ制御で移動させ、小型リニアックがリング内を回転します。加えて、短時間の照射が可能なりニアック汎用機も更新。これらの装置導入により、すべてのがん種に対し、国内における最高水準の放射線治療を、岐阜県内で完結させることができます。

## Message

主任部長・放射線治療部、  
中央放射線部部長  
梶浦雄一



治療後、どれだけ質の高い生活をお送りいただけるか。ここに焦点を当てています。

放射線治療部の拡充には、正常組織への副作用 (有事事象) の低減、手術療法に置き換わる根治的治療、高精度の緩和照射確立という3つのポイントがあります。言い換えると、高齢の方を含めた患者さんが、放射線治療後、どれだけ質の高い生活を送ることができるかに焦点を当て、環境、設備機器の整備を図ったものです。

設備機器以外にも配慮を施しました。例えば、治療後に使われる回復室は、独自に一部屋を用意。特に、緩和照射目的の紹介患者さんが、負担なく、一日を有効的にお使いいただけることとします。加えて、放射線腫瘍医、専従看護師、診療放射線技師、医学物理士らを増員し、一丸となって患者さんを支えています。



生活習慣病予防①

禁煙は、生活習慣病のリスクを下げる上で大きな効果が期待できます。

## 「診断機能」



今回のテーマ

## がんゲノム医療における病理診断

細胞レベルで最終診断を下し、より適切ながん治療への道を開きます。

### 01 がんの悪性度や予後、遺伝性腫瘍の可能性、遠隔転移の原発不明がんを特定。

病理とは、病気の本態や原因、転帰（治療における症状の経過や結果）を明らかにする学問です。その見知から特定の疾患や状態を判定することを、病理診断といいます。具体的には、臓器の一部を組織標本にし、その細胞の形を顕微鏡で調べ、細胞で何が起きているのかを明らかにします。

がんの場合でも、悪性度や予後、また、遺伝性腫瘍の可能性が解るのはもちろん、原発不明がんの遠隔転移も、細胞から発現する物質を検出することで、莫大な蓄積データに照らし合わせ、腫瘍全体の由来組織、すなわち原発部位を立証。臨床（診察や治療を行う現場）に活かせる情報として、各診療科医師に提供しています。



### 02 検体の情報を最大限に引き出すために、院内での検査解析をめざす。

がんゲノム医療では、がん遺伝子パネル検査、コンパニオン診断の検査がありますが、当センターをはじめがんゲノム医療連携病院は、検査の解析は外部の大学や研究機関に依頼しています。

それに対し、病理診断科は、院内で検査解析が実施できる体制づくりを目標としています。まずは、特定の分子標的薬の効果や副作用をあらかじめ調べる重要な検査、コンパニオン診断の検査。解析機器を整備し院内で行うことにより、解析期間の短縮化を図るとともに、解析における柔軟な対応が可能となります。結果、患者さんの大切な検体の情報を最大限に引き出すことに繋がります。今以上に、診療活動への貢献が高まるものと考えています。

## Message

病理診断科部長 兼  
遺伝子病理診断科部長  
片山雅貴



チームの総合力で、がんゲノム医療をさらに進化させる。

がんゲノム医療において、医師の立ち位置はそれぞれ異なります。一つの専門領域に特化し、診療すべてのオペレーションを担う臨床医に対し、正確な治療を行うために細胞レベルでの最終診断を下す病理医。また、人体の画像情報の全体を見る放射線診断医と、その実態を細胞レベルで見る病理診断医など。どれか一領域の専門医だけでは成立せず、チームの総合力があってこそ、がんに対峙することが可能です。

チームでいえば、臨床検査技師、診療放射線技師にもより専門特化した領域の資格があり、当センターでは挑戦を続ける人材がいます。そうした全員の力を結集し、がんゲノム医療のさらなる進化をめざします。



# 未来を見つめて ここから一歩!



患者さんや仲間から、  
信用を得られる  
プロをめざして。

臨床検査技師(1年目)

宇野ともか  
(うのともか)

岐阜県岐阜市出身  
藤田医科大学医療科学部  
医療検査学科卒業  
中央検査部 検体検査室



対談  
初期臨床研修医  
×  
新人臨床検査技師

初期臨床研修医(1年目)

岩本直樹  
(いわもとなおき)

兵庫県芦屋市出身  
国立大学法人東海国立大学  
機構 岐阜大学大学院医学系  
研究科・医学部卒業

二人とも医療現場に立って1年目。  
今の気持ち、状況をお教えてください。

**岩本** 僕たち研修医は、各診療科での研修とともに、救命救急センターでも勤務していますが、特に救急外来の現場では、責任の重さを痛感する日々を送っています!

**宇野** 例えばどのようなことですか?

**岩本** 患者さんが訴えられることすべてに応えるのが、とても難しく思います。座学としての知識はいろいろ頭にあるのですが、緊急性メインの現場では優先順位が必要になりますから。もちろん上級医に確認をしていますが、同じ訴え、同じ疾患の方でも、振り返るとまた違う学びがいっぱいあり、責任の重さも痛感しています。

**宇野** 責任の重さは私もまったく同感です。私たちが出す検査結果は、医師の診断や治療に直結しますから、患者さんに与える影響がとても大きいんですね。検体(尿や血液など)検査でも、超音波検査、心電図検査でも、すべてそうです。もし私が一つでも見逃したら、間違えたらと考えると、緊張感で身が引き締まります。

**岩本** 空気が張り詰めていきますよね。解ります!

検査部全体がとても温かいです。  
教えてくださいと言うと、親身に  
指導して下さるのが有り難いです。



指導医の先生が、つきっきりの  
マンツーマンでしっかり教えて  
くださいます。勉強になります!

2年目、3年目と続く医療人の歩みですが、  
めざす姿はどのようなものですか?

**宇野** 私は、今は検体検査を担当していますが、今後は、超音波検査なども担える技師になりたいですね。もっと先には、中央検査部のなかで、何かあってもこの人がいれば何とかかな、と思っていただける検査技師になりたいです。一つひとつの検査結果から検査全体の結果は正しいという総合的な判断ができ、その判断を信用していただけるプロですね。

**岩本** 僕は、医学部の4~5年生のころから循環器内科と決めているんです。元々、物理学が好きで、循環器は循環動体学といわれ、物理学の考え方の応用が多い領域なんです。そんなところに魅力を感じました。患者さんとの関係性にしても、上級医のように、対話を通して心の距離を近づける力を身につけたいです。座学と臨床を結ぶには、患者さんの生活背景まで知ることが必要ですからね。もっともっと経験を重ね、この人に任せたら安心できるな、と思われる医師になりたい。宇野さんが言う、信用を得られるプロですね。

**宇野** お互いに、責任の重さに負けてはいられませんね!

**岩本** そのとおりです。しっかり歩んでいきましょう!



生活習慣病予防③ 身体をしっかりと動かして、休養を取ることで、心と体の健康を保ちましょう。

知っておきたい

# 地域 医療 事情

今回のテーマ

がんゲノム医療  
連携病院

岐阜県  
総合医療  
センター  
では

次世代のがんの個別化治療の一つ、がんゲノム医療。  
日本全国どこでも受けられる体制づくりが進んでいます。

☑ 一人ひとりの体質や病状に合わせた治療薬を選択する。

遺伝子は、私たちの体を作る設計図であり、その設計図全体をゲノムといいます。そして、遺伝子情報に基づく個別化治療の一つが、がんゲノム医療。がんの原因である遺伝子異変を明らかにし、一人ひとりの体質や病状に合わせた治療薬を選択していきます。遺伝子解析技術の進化に伴う遺伝子変異の発見は著しく、国は、がんゲノム医療中核拠点病院(がんゲノム医療を牽引し診療や臨床試験、治験や新薬などの研究開発を行う)をはじめ、がんゲノム医療拠点病院、がんゲノム医療連携病院を定め、日本全国どこにいてもがんゲノム医療を受けられる体制の構築をめざしています。

☑ 検査、カウンセリング、臨床情報の収集・管理などを担う。

がんゲノム医療連携病院は、中核拠点病院や拠点病院と連携し専門的ながんゲノム医療の提供に力を注ぎます。例えば、一度に100以上の遺伝子を調べるがん遺伝子パネル検査、特定の分子標的薬の効果や副作用をあらかじめ調べるコンパニオン診断をはじめ、遺伝カウンセリングの実施、適切な臨床情報等の収集・管理・登録など。2024年1月1日現在、岐阜県には、大垣市民病院・岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜市民病院・岐阜大学医学部附属病院・中濃厚生病院・中部国際医療センター(50音順)の7つのがんゲノム医療連携病院があります。

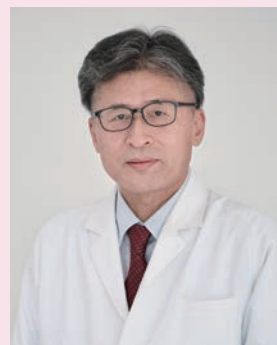


エキスパートパネル(専門家が集まって遺伝子解析結果を検討する会議)の様子

中核拠点病院とともに、患者さん、地域医療機関に負担をかけず、  
検査、遺伝カウンセリングなど、がんゲノム医療の提供に尽力。

当センターは、2020年より中核拠点病院(名古屋大学医学部附属病院)と連携し、がんゲノム医療を行っています。対象は、標準的な治療がない、標準治療が終わっても効果が乏しい、化学療法に耐え得る全身状態といった患者さん。がん遺伝子パネル検査、コンパニオン診断を進めると同時に、中核拠点病院が開くエキスパートパネル(専門家会議。検査の解析結果の意義づけと治療法を検討)に出席。患者さんの治療法を決定させています。また、遺伝カウンセリングにも尽力し、遺伝に関わる問題に対し、認定遺伝カウンセラー®が化学的根拠

に基づく情報をご提供。地域の病院には、前述の検査とともに、遺伝カウンセリングのみのご利用も可能です。なお、当センターは、日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構の協力施設であり、現在は連携施設をめざして申請中です。



副院長・高度先端医療部部长  
荒井正純



生活習慣病予防④ 一年に一度は健康診断やがん検診を受けて、体のチェックをしましょう。

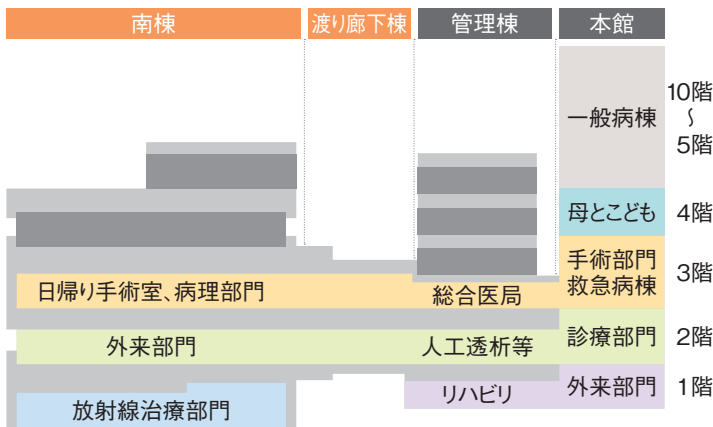
## 2024年3月 高度な放射線治療と病理診断、より進化した南棟が誕生。

### 2024年3月、本館南側に南棟が新たに誕生します。

なかでも放射線治療部門はリニアックの専用機2台と汎用機1台を導入。  
より高精度の放射線治療が実施可能となります。



- 高精度の放射線治療機器が充実し、患者さんの症状に応じたベストな治療を提供します。
- 病理診断部門を集約・強化。遺伝子診療へも対応します。
- 手術件数の増加に対応するため、日帰り手術室を増設して体制を整えます。



患者さんが安心して  
良質な放射線治療を受けられる  
環境を整備しました。

#### サイバーナイフ

安全・正確な定位放射線治療:切らずに痛みのない、患者さんの負担が少ない手術が可能です。



#### トモセラピー (IMRT)

できるだけ正常な細胞への照射線量を抑えて病巣に集中的に照射ができます。



#### 汎用型リニアック

がんの種類やステージに合わせて、一人ひとりの目的に合わせた柔軟な対応が可能です。



※治療については、医師が患者さんの状態、背景等に  
応じたさまざまな治療法を組み合わせ、最適な治療  
をご提案します。

### 岐阜県総合医療センター WEBマガジン

地域の皆さんや連携機関の皆さんと「岐阜県総合医療センター」を情報で繋ぐ、広報誌連動型コミュニケーションサイト。ぜひご覧ください。

つながぐ

こちらから

